



笑顔☆ きらり

誰にでも
やさしいまち
常陸大宮



巻頭：鈴木市長 × 長田准教授 Special Talk
「誰にでもやさしいまち常陸大宮」の実現に向けて
ー 常陸大宮市の男女共同参画 今後の方向性

巻末：困った時は…
各種相談窓口情報

p8～：小・中学生アンケート「イマドキ事情」
p10～：インタビュー「まちで輝く女性達」
p13：SNS企画 笑顔になっちゃう写真展
p14～：笑顔がきらり☆まちプラン 計画の概要

*新型コロナウイルス感染症対策として、取材は、マスク着用、ソーシャルディスタンスに配慮のうえ実施しています。

対談テーマ

— 常陸大宮市の男女共同参画 今後の方向性

Special Talk



茨城大学准教授
長田 華子

ながた はなこ

茨城大学人文社会科学部法律経済学科准教授。
専門はアジア経済論、南アジア地域研究、
ジェンダー論。
常陸大宮市男女共同参画推進アドバイザー。
1982年、東京都生まれ。

「誰にでもやさしいまち常陸大宮」の実現に向けて



常陸大宮市長
鈴木 定幸

すずき さだゆき

茨城県常陸大宮市長。
茨城県議会議員を3期務めた後、2020年
4月から常陸大宮市長に就任。
1967年、常陸大宮市生まれ。

——現在のコロナ禍で大きな影響を受けている女性に対しての取組はされていますか。

鈴木市長 常陸大宮市は、非正規やパートタイマーの女性が多い第三次産業（サービス業）が占める割合が59%前後で、男女共同参画という視点からではなくても必然的にコロナ弱者となってしまう。そういう方々が休職・失職とならないために、罹患防止とセツトでまちの経済をしっかりと回すために、プレミアム付商品券の発行や市内の飲食店を支援する無料の飲食券を発行しました。その中でも最も生活が苦しくなると推定される母子家庭に対しては、国からの支援に加え市単独の支援も行っています。最前線におられるエッセンシャルワーカーの方々に対し、消毒用アルコールや不足していたマスクを購入する費用を支援した経緯があります。

今後は、コロナ禍で最も不利益を被るのは



女性であるという、その実態をしっかりと把握し、その方々の生活を守るための支援策を講じていくべきであると思っています。そのため、これまでできていなかった実態調査を行い、本当のコロナ弱者は誰なのかをしっかりと把握し、男女問わずその方々を救う政策を進めていきたいと思っています。

長田准教授 今、市長がおっしゃったことはとても大切なことだと思います。新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナと省略）によって女性達がどういう状況に陥っているかを細かく把握することが一番大事です。私達研究者も報道・メディアも女性がおかれている状況が深刻であることを報告しています。地域によって違いがあることを調査する必要があります。地域の状況に即した実態をきちんと把握することは地方自治体に課せられた使命であり重要な役割だと思っています。

今回の新型コロナの問題は男性よりも女性に深刻な影響を及ぼしているということ。飲食や観光といったサービス業には女性が多いですし、エッセンシャルワーカーである医療・保健・介護といった分野にも女性が多いです。昨年の3月～5月に学校が一斉休校となりましたよね。その時も子供の世話を女性がせざるを得ない状況になり、これによって女性が休職したり、賃金が下がってしまったりと大きな影響が出ています。

これは日本だけでなく、男女共同参画の意識が根付いているとされる欧米でも、同じ影



響が出ています。皆、ストレスを抱えながら家庭に戻ってくるので家庭内暴力が起り、それが子供に影響するなど、非常に大きな問題を抱えていると思います。

市の状況に即した実態の解明と、それにより女性がどんな支援を求めているのか、こうしたことをきちんと把握して的確に発信していく。女性達の要望に応えていく姿勢を見せるだけでも、私は「安心感」は違うと思います。安心を感じられるということは人間にとつて、とても大きなことだと思います。女性達からは悩みを発信しにくいので、子育て中の女性達が気軽に参加できる場を定期的に設けるなどして、女性の悩みや気持ちを汲み取っていくこともひとつかなと思います。

鈴木市長 長田先生がおっしゃった「安心感」これはとても大事なことで、今の日本の政治は、「心配しないで」、「安心して」と言うメッセージがまったく国民に対して発せられてい

これからのまちづくりの主人公は
女性だと思っています。



ないということをフェイスブックで見かけましたが、実際にできる、できないにとらわれ過ぎず、まずは「心配しないで」と発信することが行政の役目なのだと思いますね。

——「男性は仕事、女性は家庭」という意識の解消に向けて市民に対しどのようなアプローチが必要だと思われませんか。

長田准教授 未だに日本では性別による役割分担意識が根強く残っています。そのことを理解することが必要で、正しいデータに基づいて今どういう状況であるかという現実を示して理解することが、私は極めて重要だと考えます。

調べますと日本では1997年に共働きの世帯の数が専業主婦の世帯の数を上回っています。でもこの状況は続いているのです。一方で、2019年の内閣府男女共同参画白書によると、6歳未満の子供を持つ夫婦の場合、日本の女性は1日あたり男性の5倍以上の時間を家事・育児に費やしていて、諸外国に比べて圧倒的に日本の男性が家事・育児に掛ける時間は少ないのです。

これは決して個人の問題ではなく、日本の社会に根付いた日本社会の構造の問題として考える必要があると思います。男女の役割が不均等に、不平等に偏っているのであればその制約を解いていく、社会全体で制約を解いて、男性も女性も自分の能力を発揮できる社会にしていく必要があります。「私の夫は協力的だから問題ない」と個人の問題に矮小化^{わいしょうか}してしまつてはいけません。

もう一つ、小さい時から、勉強したり考えたりすることがとても重要だと思います。年を取ってから考え方を換えようと思つてもなかなか難しい。だから次世代の教育というのは大変重要だと思います。学校教育の場だけでなく男女の偏りが無いようにしていくか、学校の先生の役割は非常に重要ですし、そういったことを一から積み重ねていくには時間もかかります。急には難しいことですから、地道に変革していくことが必要だと思います。

私は、2年前に研究でイギリスに1年間滞

在していましたが、いろいろな発見がありました。例えば、イギリスの公共放送のBBCで夜の10時台のニュースを見ていた時のことです。ちょうどEUから英国が離脱するかどうかという重要な時で、そのニュース番組の政治部の記者が皆さん女性だったのです。私はその映像を見た時に本当に驚きました。日本では夜の時間帯に、しかも政治部の記者が女性というのはちょっと考えにくい。こういう社会を見て育つと、「男性はこう、女性はこう」という仕事の選択がやわらぐと思つたのです。日々、日本でニュース番組を見ていますと政治部は男性記者、社会や文化については女性記者、そういった社会状況が私たちの考えのどこかに定着してしまつている。そういった状況を少しずつ変えていくには地道な変革が求められているなとつくづく思いました。



地域の持続可能性を考える上で男女共同参画の理念はととても重要です。



—— **鈴木市長**ご自身は性別による役割分担についてどうお考えですか。

鈴木市長 これは、育った環境によって全然意識が違ふと思います。例えば、今、お産の時など男性が立ち会うのが当たり前になっていますが、私の母親の時代の考えではそんなことは言語道断、男は外で働いて家族が困らないように金を稼いでこいという考えでした。私が育つたのはそのような環境ですから、どちらかというと私はそういう傾向が強いのだと思います。

しかし、長田先生に示されたデータを見ると、確かにそうだなと。外で働いている時間

が一緒に、家に帰ってきて8割方女性が家事をやっているというのは、これはやっぱり違うと思います。ただ、その一方で、市内で成功している若い経営者の方達と話をする機会があるのですが、男女共同参画が偏りすぎて、奥様が強くなりかえって喧嘩ばかりしているというような声も聞きます。育ってきた家庭環境やこれまで学んできたことなど、バックボーンが人それぞれ違う状況の中で、今すぐ固定的役割分担がだめだと一刀両断にするのは、いかななものかと思えます。

昔は男性にしかできない仕事が多かったですよね、例をあげれば大型トラックの運転手、昔はハンドルが重くて女性には取り回しが難しかったのですが、技術革新によってパワーステアリングができて逆に男性より女性の方が事故が少ないなど、世の中が変わってきている。こういうことを考えると、教育の現場においては、きちんとデータを示して教えていくことが必要だという気がしますね。

—— **教育の現場では男女平等が進みましたが、社会に出ると状況が変わってしまったことについてはいかがでしょうか。**

長田准教授 そうですね、大学生を見ていても同じような傾向です。女子学生の方が色々なことにチャレンジするし、能力も高いなど感じますが、その女子学生が社会に出て数年経つと自分の行く末が見えてきてしまうわけですね。特に企業では男性が厚遇されていく



状況を見ていくと、どんなに意欲がある女性でもそこで断念するとか尻込みをしてしまう。そうした状況を避けるためにも、企業なり、上に立つものがしっかりと教育すること。若い人、特に女性が伸びるような形での指導や役割がとて重要で。女性は尻込みしたり、「私なんか」と言ったりするかも知れませんが、それを「あなたならできる」と、意識付けをしていくことがとても重要だと思います。

—— **「女性が活躍できる地域社会を構築していくためには、市民に向けてどのような働きかけをしていくことが必要でしょうか。」**

鈴木市長 これからのまちづくりの主人公は女性だと思っています。女性が住みやすい、住んでいてストレスが溜まらない、住んでい

て楽しい、そういうまちづくりが必要で、そこは女性目線が大切ですね。

よく指標として掲げられている「管理職の女性割合30%以上を目標」ですが、有能であるならば100%でも女性にすれば良いのであって、それができなくてただ「女性割合を30%以上にする」というのは賛成できません。女性の感性を活かせる、活かしていかなくてはならないことに関しては何割とかではなく100%が良いと思います。

長田先生のお話にもありましたが、優秀な女性が多いのに女性の部長がいなかったか仕事をする上でのハンデというものが会社組織の中ではあると思います。女性には特有の「出産・子育て」があります。企業からすれば、社員として育ててきて一番活躍してほしい時に2〜3年抜けられてしまう。ここは考えるところではあります。しかし、優秀な人材は復帰しても優秀であるはずだから、復帰してきたらすぐ滞りなく従来のポジションでバリバリ仕事ができるような仕組みを作り上げれば良い。それが社会全体に広がれば、必然的にハンデはなくなってくると思います。

——市の職員で産休・育休から復帰した時に研修の制度はあるのですか。

鈴木市長 復帰する時に研修が必要な職種はあると思います。例えば看護師さんは出産で3年も現場を離れていて、復帰していきなり点滴の針を打てるかという不安があると

るので、そういう職種は研修が必要だと思います。

役所もいきなりの復帰は難しい所もあると思うので、しつかり対応できる体制づくりをしたいですね。例えば「ひたまるアプリ」を活用して自分の部署での日々の状況を毎日見ることができたら、実際に仕事に携わらないでも遅れることはないと思います。情報遮断されてしまうから復帰しても浦島太郎になってしまい自信をなくしてしまう。そのようなところもきっちりやるべきだと思います。

——本市における女性の結婚・妊娠・出産・子育ての事業は充実していると思いますが、新たな取組は何か考えているのでしょうか。

鈴木市長 切り口はいろいろあると思います。女性の場合はどうしても出産・育児でシヨートリタイアすることがありますよね。そのような方々がすぐに職場に溶け込める施策は絶対必要でしょうね。企業への働きかけもあるでしょうし、取組をしている企業への助成などの支援もあるでしょうし、まず実状を把握した上で、データに基づいて事業を起こしていくことになろうかと思っています。

長田准教授 私は、今後は女性が働きやすいとか、女性に対して積極的に教育支援をするとか、そういうことをしている企業こそが残っていくと思いますし、競争力を持つてく

ると思います。出産・育児の経験を取り入れることにより色々な考え方が生まれ、柔軟性が出てきて、逆に強みになってくる。

これまでのような男性が24時間働けますかという時代は終わって、今後は、むしろ、色々な人が関わることによって強みを発揮する、多様性を持つことが求められる社会になるのだらうと思います。そういうことを積極的に取り入れることが強みになるとアピールすると、地域の企業さんもそうなのかと違ってただだけ。女性の経験や考えを受け入れることによってより良いものができるのであれば、企業も行政も変わっていくと思います。考え方の転換が非常に重要だと思います。

——最後に、男女共同参画社会実現に向けて、市民へのメッセージをお願いいたします。

長田准教授 人口流出はどの地方自治体にとっても喫緊の課題だと思います。市民の皆さんにとつて、将来もずっと住み続けたいまちはどのようなものか。私が思うのは、安心して子供を産み育てられる、もちろん安心して生計を維持できるということも重要でしょう。おいしい農作物やお魚を手軽に楽しめる、そして病気になったときは安心して医療を受けられる、そういった本心に根源的なものだと思うのです。コロナ禍にあつてそういった根源的なものがより重要性を増していると思います。

地域の持続可能性を考える上で男女共同参画の理念はとても重要です。皆さんの中で、「女性の人權を」とか、「女性に力を」といったことを強く主張することが男女共同参画社会であることや誤解して捉える風潮がありますが、そうではありません。性別による固定的役割分業の意識に縛られず、男性も女性も自分の能力をいきいきと発揮できる、これがそが地域の豊かさにつながっていくと私は思います。そのために、男女共同参画の理念はとても重要だと思えます。

今後、より良い常陸大宮市をつくるため、今こそ市民の方一人ひとりの役割や意識の改革が必要ではないかなと思います。

鈴木市長 仕事の形態は変わってきていると思います。情報化社会に転換してから知的作業で収入を得ることの割合が増えてきたと思っています。そういったことを考えると、これからは男女の差はさらに無くなってくる



と思いますし、その時に唯一残る差が「出産・子育て」だと思います。そこが女性のキャリアにとつてハンデとなる社会ではそのまちは伸びないと思います。意識の部分も含めて、しっかりとやっていかなくてはいけない。

そして、女性が住みやすいまち、住みたいと思うまちはこれからのまちづくりには絶対に外せないものだと思います。ハード面でもソフト面でも。例えばハード面ではどんな靴で歩いてもストレスのない道路づくりをしようになど、そういうことも考えながらまちづくりをしていこうと思います。これからのまちづくりにはぜひ女性が参画をしていただきたいと思っています。

長田准教授 市長のメッセージに付け加えたのですが、一見、男女共同参画に関連しないと考えられる施策でも実は関連している。道路の整備ひとつでも、例えば光を照らすとか、歩きやすくする、歩くスピードに配慮

するなど。ハードの面でも一見、男女共同参画に資さないように見えても、それが女性にとつてやさしいまちにつながることであるのですね。

全ての市の施策、企画、実行、評価の部分に男女平等の考えを組み込む、これを「ジェンダー主流化」と言いますが、それをぜひ、常陸大宮市でも実行していただくことを希望します。まだまだ、市に求められていること、市ができることはたくさんあると思いますので、ぜひ、市民の方々に積極的に関わっていただき、まちに愛着を持って、誇りを持てるようなまちづくりをしていただきたいと思っています。

(聞き手) 株都市環境計画研究所 庄司理恵

常陸大宮市の小・中学生に「男女共同参画」について聞いてみました



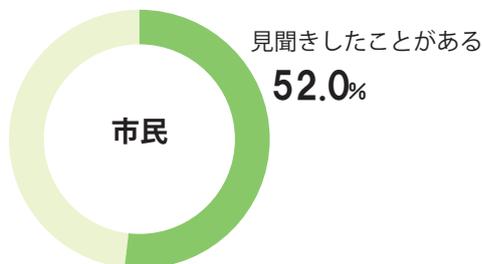
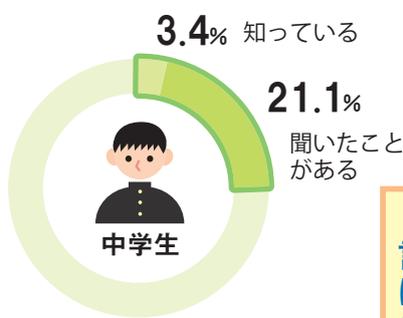
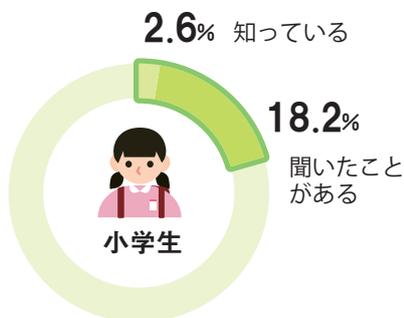
小学5年生
231人が回答



中学2年生
265人が回答

令和2年10月に、市内の小学校11校の5年生と中学校4校の2年生を対象に男女共同参画についてのアンケート調査を実施しました。
イマドキの小・中学生は男女共同参画についてどのように考えているのかをまとめてみました。

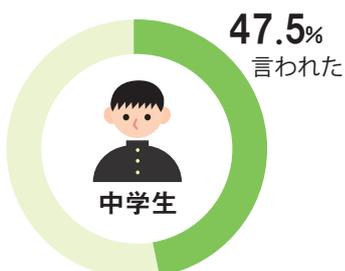
Q. あなたは「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか？



「男女共同参画社会」という言葉を知っている小・中学生は約2割程度ですが、大人は約5割が見聞きしたことがあると答えています。
(令和2年市民意識調査から)

大人の半数は「男女共同参画社会」という言葉を見聞きしたことがある一方で、子供達を「男だから」「女だから」というイメージにあてはめていない？

Q. あなたはおとなの人に「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことがありますか？



まわりの大人達から「男だから〇〇しなさい」や「女だから〇〇しなさい」のように言われたことのある小学生は約3割、中学生では大きく増えて約5割となっています。

★解説★
男女共同参画用語

★男女共同参画社会★

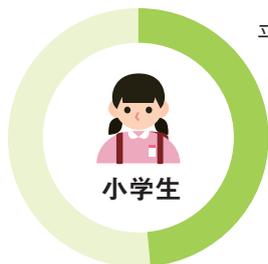
男女が互いに人権を尊重し、「女性」や「男性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる豊かな社会のことです。

Q. あなたは学校にいる時、
男子と女子は
平等だと思いますか？



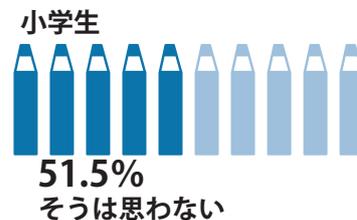
学校での男女平等

Q. 学校（学級）の係の中で、
男子向き・女子向きの係が
あると思いますか？



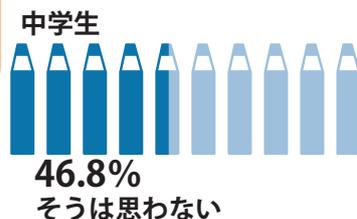
平等だと思う
48.5%

約5割の小・中学生は
「学校にいる時、男女は
平等」だと思っています。



平等だと思う
49.1%

約5割の小・中学生は、
学校で「男子向き・女子
向きの係がある」とは
思っていません。



学校では男女平等
学級での係はどうなっている
かな？

Q. あなたは家にいる時、
男性と女性は
平等だと思いますか？



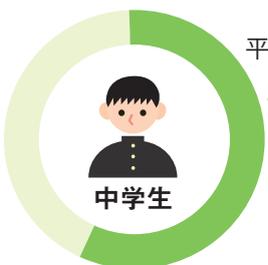
家庭での男女平等

Q. 家の中で、食事のしたくや
そうじ、せんたくのような家事を
主にしているのはだれですか？



平等だと思う
54.1%

半分以上の小・中学生
は「家にいる時、男女は
平等」だと思っています。



平等だと思う
56.6%

実際には、家で家事を
しているのは「主に母」
が9割以上です。



家事をするのは主に母
家では本当に男女平等かな？

★解説★
男女共同
参画用語

★性別による固定的な役割分担意識★

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにもかかわらず、男性、女性という性別を理由として、役割を固定的に分ける意識のことです。

笑顔がきらり

今、まちで 輝く女性達

現在、市内でいきいきと活躍されている女性達に、
仕事のことや活動内容についてお伺いしました。

医療法人博仁会 志村大宮病院
もとさか なおみ
源栄 尚美さん

常陸大宮市で活躍している女性たち

笑顔がきらり

小学生のお子さん2人の子育て（家庭）と仕事を両立している。
音楽の専門学校の卒業後、看護補助者として一般病棟、（介護）療養病棟を経て、現在（医療）療養病棟・介護リーダーとして従事。介護福祉士資格を持つエキスパート。



女性が多い職場

出産後も仕事は続けられますか？

源栄さんは現在、小学生のお子さんの子育てと仕事を両立されている介護福祉士で、産休・育休後に職場復帰をされています。

私も子育てしながら職場復帰するのはすごく不安だったのですが、勤務時間帯も相談すると融通を利かせていただけだったので、安心して働きに出られました。

復帰時は業務に慣れるまでには時間がかかるし、休職中に業務の内容が変わったこともあるので、誰かに一緒にいていただき、実務に就きながら覚えていく形での職場復帰でした。

職場は子育てしている女性が働きやすい勤務体制になっているんですね。

病院は女性が多い職場で、仕事柄、勤務は夜勤等の変則勤務もありますが、妊婦の身体に負担にならないような勤務や、子育て中でも働きやすい勤務時間など、勤務体制はしっかりとしています。

育休から復帰した方は、3年位は時短勤務で働き、子供に手がかからなくなると常勤へ戻るといったパターンが多いです。また、通常の夜勤より時間が短い準夜勤は、子供が寝てから出勤して朝起きるまでに帰宅できるので、夜勤をしやすくなりました。

資格が必要なお仕事ですよね？

病院でのお勤めとなるとはじめから「資格」が必要なのでしょうか。

介護職の場合は働きながら資格取得ができる仕組みがあります。

私自身も、実は音楽の専門学校出身で、将来を考えて資格を取っておきたいと思いヘルパー2級(当時)を取って就職して現在に至った経緯があります。

未経験者でも時間をかけてコツコツと努力することで有資格者となれます。

すでに資格を持っていて再就職を考えている方は、今の現場についていけるか不安をお持ちだと思います。

ブランクがあつての再就職は、経験をお持ちでも個々のレベルは違いますし、その人に合わせた指導をしていくようにしていますので、不安なく仕事に就けます。

新しい介護方法などの研修は病院内でもたくさんやっていただけますし、自分で参加したい研修があれば外の研修でも行かせてもらえるので、レベルアップもできます。

— お話を伺うまでは「大変そう」というイメージがあった介護の仕事でしたが、勤務体制も整っていて子育てとの両立が可能なのですね。

（聞き手：（株）都市環境計画研究所 庄司理恵）

*新型コロナウイルス感染症の対策として、マスクを着用し撮影しました。

資格を活かした仕事を目指している女性へ

持っている資格を活かさないのはもったいないことですね。私の職場でのことになりますが、ブランクがあつても、新人さんと同じように教えてもらえる職場なので安心して働いていただけるかなと思います。



常陸大宮市で活躍している女性たち
笑顔がきらり

なるい あさみ
常陽銀行 大宮支店 成井 麻美さん

小学生のお子さん2人の子育て（家庭）と仕事を両立している。
県内の大学卒業後、常陽銀行に就職、初任地の大洗支店から現在の大宮支店まで6支店での勤務を経験。育児休業取得後に復職し、現在は預かり資産の渉外関係業務に従事。



出産・育休後の仕事復帰 不安はないですか？

成井さんが育休明けに職場復帰したのは、およそ10年前、その頃と今とでは状況がずいぶん変化しているのではないですか。

私の頃も育休後の時短勤務がありました。今ほど制度の定着が図れていなかったため、普通の勤務形態で復職しました。

現在は、育休明けはほとんどの方が時短勤務で、遅く来て早く帰る勤務時間スタイル、周りの人の理解もあって時短勤務しやすい環境になっています。

復帰してすぐは新しく覚えなくていけないことがありますよね。

現在は、育休中に復職研修があり、研修中は保育士の方に子供の面倒を見てもらえるので、子供連れで研修を受けることができます。また、独自の自宅学習システムがあって、自宅で学ぶこともでき、復帰の支援体制は充実しています。

今は、すぐスムーズに復職ができると思います。

働き方改革って進んでいるのですか？

最近よく言われる「働き方改革」ですが。

子育てなど仕事以外の生活に集中できるように働く時間も変わってきたと思います。やる時はやる、帰る時は帰る、メリハリをつけて仕事をするようになっていき、職場全体がそういう空気になっています。

具体的にはどのように変わりましたか。

以前は、15時にシャッターが閉まって定時が17時、その後に遅くまで事務作業をして帰宅するのが当たり前という時代もありました。今は基本的には18時半に、水曜と金曜は早帰りで17時半には退勤するようにしています。

また、常陽銀行では、フレックスタイム制勤務が導入されフレキシブルに仕事ができる体制になっており、仕事以外の時間を有効に活用して自己啓発やリフレッシュをするのに役立っています。

— 仕事を持つ女性の誰もが育児休業後の職場復帰には不安を持っていると思いますが、最近は研修や時短勤務などが充実しているようですね。

（聞き手：(株)都市環境計画研究所 庄司理恵）

産休・育休後の再就職を目指している女性へ

育休中は社会から隔離されるのが一番不安だと思いますが、前向きに気持ちを持って行ってほしいと思います。育休中は皆が不安を抱えています。でも大丈夫、私も仕事復帰ができましたからご安心ください。



常陸大宮市で活躍している女性たち 笑顔がきらり

やおみや元気食堂 代表 山崎 庸江さん

2016年12月、子供の小学校保護者として一緒だった同世代のママ友8人で「多世代で食事を楽しめる」地域の食堂として「おみや元気食堂」を立ち上げた。市内病院施設内カフェテリアにおいて、毎月1回定例（土曜の昼）で開催している。



おみや元気食堂ってどんな所？

みなさんは「おみや元気食堂」をご存じでしょうか？
代表の山崎さんにお話を伺いました。

「おみや元気食堂」は、多世代が笑顔で食事を楽しめる食堂を理想として、2016年12月にオープンしました。市内病院施設内厨房とお客様を迎えるカフェテリアをお借りして開催しています。普段は仕事や介護に従事している同世代のママ友8人で始めたさやかな任意団体の食堂で、日々の生活の中、月1回の土曜昼食のボランティアをしています。

茨城県の女性・若者企画提案チャレンジ支援事業で優秀賞となったと伺っていますが、皆さんがこの事業を始めたきっかけは何ですか。

各地で組織・団体が「子ども食堂」の活動を始めた頃で、私達も食堂を開催したいという計画を練っていました。

オープンにあたっての資金は、県の女性・若者助成金を活用して調達しました。4月のスタートから翌年1月までの活動内容を県に報告し、プレゼンテーションによる女性・若者企画提案チャレンジの審査を受けました。

常陸大宮市で初めての子ども食堂の趣旨を持つ食堂のオープンと、この活動がこれから世の中に広がることの期待も込めて、優秀賞をいただいたとっております。食堂としてはまだ1回目の開催しかできていない状態での受賞だったので、非常に驚いたのと背中を押していただいた機会となりました。

元々は子ども食堂ということがあると思いますが、子供だけでなくお母さんお父さんも含めてみんなで来てくださいという主旨ですよ。

食堂をオープンした頃は「子ども食堂＝貧困・孤食を改善するところ」というイメージ。私達は貧困・孤食に特化した食堂を作るつもりはありませんでした。

かつて自分達が子育てをした時に子供との「食事」に関しては反省するところがありました。今の働くお母さん達はかつての自分達です。

子供達の食事を考えた時に今何が必要なのか。普段忙しいお母さんと子供と一緒に食べていただける一食を提供する機会、家族で気軽に食事ができる食堂に意義があるのではないかなと思いました。

始めてからはいかがでしたか。

実際始めてみると見えてきたものがありました。常陸大宮は、多世代といいますか三世代でお住まいの家族が多く、三世代で食堂に来て下さる方がたくさんいらっしゃる、これが理想だということをお客様から教わりました。

「どなたが来てもいいんですよ」ということをようやく言えるようになりました。「おみや元気食堂」の理想は、ここに住む方々が集う食堂です。

— ママ友の団結力を感じた活動です。山崎さんは行動力があり、食材はJA常陸や若手就農家、地元企業に直談判してご提供いただいているそうです。

（聞き手：(株)都市環境計画研究所 庄司理恵）

働くお母さんへのエール

ご飯は誰が作ってもいいと思っています。子供と母親の帰りを待っているだけでなく“男女関わらず”家族の誰かがその子に「今日の夕飯はこれだよ」と日常の一食を提供してほしいです。



笑顔になっちゃう写真展

思わず!?



SNS
企画

#笑顔がきらり常陸大宮

市 Instagram、Twitter等の SNSにおいて「日常生活の中で思わず笑顔になっちゃう写真」を募集しました。(期間: 令和2年12月28日～令和3年1月28日) 沢山のご投稿ありがとうございました。
(※応募多数のため、写真を選考させていただきました)

広場が彩られました



思わず目が合います



ひよっこり!



りんご大好き!



丸坊主まであと...



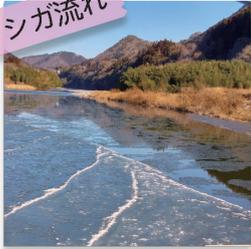
丑年! 常陸牛!?



我が家の畑で...



シガ流れ



カエルも Stay home!



スマイル!



ニヤリ...



ハートのチーズ!



ねこもふ!



口から虹が...!



ひよこ!



幸せのオムライス



あまびえ



疫病退散!

すやすや



ヒナの合唱



真夏のかき氷



「どこから来ました?」



春が待ち遠しい

ばあちゃんのお供



おめでとう!



ホッとします



■ 基本理念

気づこう共に 寄り添おう共に
～誰にでもやさしいまち 常陸大宮～

■ 基本目標 (GOAL)

GOAL I 女性の参画を広げよう あらゆる分野における女性の参画拡大

女性が働きやすい職場や誰もが性別を意識することなく活躍できる環境を整えていくには、男女共同参画・女性活躍の視点を施策に反映していくことが大切です。

- 政策・方針決定過程に積極的に女性を登用し、性別にとらわれることのない人材活用を進め、女性の職域の拡大や意識改革を推進します。
- 男女が仕事と家庭生活を両立できるよう支援の充実を図り、男女の均等な雇用機会や待遇の確保を促進し、働く女性の活躍推進を支援します。
- 「女性が活躍できる地域社会の構築」を目指し、地域活動への女性の参画を進め、女性リーダーの育成に努めます。

GOAL II 安全・安心に配慮しよう 安全・安心な暮らしの実現

人生 100 年時代の到来を意識した安全で安心な暮らしを実現していくには、女性に対する暴力の根絶や生涯にわたる健康の保持・増進等、多様な困難を抱えている人への支援が必要です。

- DV^{*1}、各種ハラスメント^{*2}、児童虐待等の未然防止の取組を進め、男女間におけるあらゆる暴力の根絶を図ります。
- 市民のライフステージに合わせた健康づくりやメンタルヘルス^{*3}、保健指導を推進します。
- 生活上困難な状況にある人や高齢者・障がい者・外国人等への支援と相談体制の強化を図り、多様性を認め合うダイバーシティ社会^{*4}に向けた取組を推進します。

GOAL III 男女共同参画社会の土台をつくろう 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

未だに残る固定的な性別役割分担意識や、無意識の思い込みによる差別や区別など市民の意識を改革していくとともに、子供だけでなく大人にも男女共同参画に関する教育が重要です。

- 男女共同参画の視点に立った慣行の見直しと市民意識の改革を促進します。
- 学校教育や生涯学習を通じた男女共同参画教育の機会を提供し、市民の意識の改革を促進します。
- SDGs (持続可能な開発目標) やジェンダーギャップ^{*5} など国際的な動向の情報や国際交流の場を提供します。

* 1 DV ドメスティック・バイオレンス。配偶者・パートナーからの身体に対する暴力(身体に対する不法な攻撃であって生命又は身体に危害を及ぼすものをいう。)又はこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動。
* 2 ハラスメント 広義には「人権侵害」を意味し、性別や年齢、職業、宗教、社会的出自、人種、民族、国籍、身体的特徴、セクシュアリティなどの属性や人格に関する言動などで相手に不快感や不利益を与え、その尊厳を傷つけること。
* 3 メンタルヘルス 精神面における健康(心の健康)のこと。
* 4 ダイバーシティ社会 性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のこと。
* 5 ジェンダーギャップ 男女の違いにより生じる様々な格差のこと。



常陸大宮市では、
令和3年3月に第3次男女共同参画計画を策定しました。

笑顔がきらり☆まちプラン — 第3次常陸大宮市男女共同参画計画 — 計画の概要

■ プラン策定の趣旨と位置づけ

このプランは「男女共同参画社会基本法」に基づき策定されるものです。本市においては、これまで男女共同参画の視点から、市民一人ひとりが性別にとらわれず自らの意思によって、社会のあらゆる分野における活動に参画し、自分らしさを発揮し、いきいきと暮らせるまちづくりを目指してきました。

この度、これまでの取組の成果や市民意識の変化、社会情勢の変化などを踏まえ、新たに「笑顔がきらり☆まちプラン—第3次常陸大宮市男女共同参画計画—」を策定しました。

■ プランの構成・期間

このプランは「基本構想 -BASIC CONCEPT」、
「基本計画 -BASIC PLAN」から構成されています。



■ プランづくりの考え方

常陸大宮市の特性に合わせた7つの視点・考え方に立って進めました。

- **何をするかを示す**
「女性が活躍できる地域社会の構築」のために「何をするか」を示す計画づくり
- **着実に実現する**
実現したいことを、着実に実現できる計画づくり
- **最新の動きをとらえる**
法制度の改正や国・県の動向及び市の上位計画などを踏まえた計画づくり
- **オーダーメイド・独自性**
地域特性を理解し、地域に即したオーダーメイドの計画づくり
- **新たな課題への対応**
求められる新しいテーマを盛り込んだ計画づくり
- **市民が分かりやすい**
常陸大宮市の取組を広く周知するための計画づくり
- **「今」を発信する**
常陸大宮市における男女共同参画計画の「今」を発信する計画づくり



各種相談窓口情報

■ 女性に対する暴力等 ■■■■

■ 常陸大宮市役所市民生活部市民課

電話：0295-52-1111

平日 8:30～17:15 ※年末年始を除く
・DVに関する相談等

■ 常陸大宮市福祉事務所（常陸大宮市役所1階）

電話：0295-52-1111

平日 8:30～17:15 ※年末年始を除く
・児童、高齢者、障がい者に対する虐待、生活支援等の相談等

■ DV相談ナビ

電話：# 8008（はれれば）

相談機関の受付時間内
・最寄りの相談機関に自動転送されます

■ DV相談+（プラス）

電話：0120-279-889（つなぐはやく）

24時間（電話・メール） 10:00～22:00（チャット）
<https://soudanplus.jp/>（メール・チャット）
・DVに関する急ぎの相談

■ 茨城県配偶者暴力相談支援センター（茨城県女性相談センター）

電話：029-221-4166

平日 9:00～21:00 土日祝日 9:00～17:00
※年末年始を除く
・DV相談や相談機関の紹介 ・カウンセリング

■ 茨城県警女性専用相談電話（女性安心パートナー）

電話：029-301-8107

24時間
・DV・ストーカー・リベンジポルノ等に関する相談
・女性安心パートナー（女性警察官）が対応

■ 性暴力被害者サポートネットワーク茨城

電話：029-350-2001

平日 10:00～17:00 ※面接は事前予約制

・性暴力被害者及び家族の相談

■ 性犯罪被害相談 ■■■■

■ 勇気の電話

電話：# 8103 または 029-301-0278

24時間 ※平日 8:30～17:15 はカウンセラー対応
・性犯罪被害に関する相談

■ 警察相談専用電話

電話：#9110 または 029-301-9110

24時間
・犯罪被害の未然防止に関する相談等

■ 借金問題・自己破産等 ■■■■

■ 茨城県消費生活センター

電話：188（消費者ホットライン）

平日 9:00～17:00 日曜 9:00～16:00
・自己破産、消費生活に関する相談

■ 妊娠・子育て ■■■■

■ 常陸大宮市子育て世代包括支援センター「ぬくもり」

電話：0295-58-7780

平日 8:30～17:15 ※年末年始を除く
・妊娠期から子育て等の相談、支援

■ 児童相談所 ■■■■

■ 児童相談所虐待対応ダイヤル

電話：189（通話料無料）

24時間
・児童虐待の通告、相談（匿名可）
・相談地域の児童相談所につながります

■ 中央児童相談所

電話：029-221-4150

平日 8:30～17:15 ※年末年始を除く
土日・祝日・夜間等、児童相談所閉庁時は「いばらき虐待ホットライン」に転送されます
・児童虐待の相談、子どもの福祉に関する様々な相談

■ 法律に関する相談 ■■■■

■ 日本司法支援センター（通称：法テラス）

電話：0570-078374

平日 9:00～21:00 土曜 9:00～17:00
・人権相談・離婚・法律の相談窓口

■ 法テラス茨城

電話：050-3383-5390（事前予約制）

平日 9:00～17:00
・法律に関する相談

■ 性的マイノリティ ■■■■

■ 茨城県性的マイノリティに関する相談窓口

電話：029-301-3216

木曜日 18:00～20:00 ※祝日・年末年始を除く
・性的マイノリティに関する不安や悩みの相談

■ 茨城県弁護士会（無料電話相談）

電話：029-221-3501

月～金 10:00～12:00、13:00～16:00
※事務局受付後、弁護士から折り返し
・セクシュアル・マイノリティに関する電話法律相談

■ みんなの人権110番

電話：0570-003-110

月～金 8:30～17:15 ※祝日・年末年始を除く
・人権に関する相談

■ 困ったとき ■■■■

■ よりそいホットライン（無料電話相談）

電話：0120-279-338

24時間 <https://www.since2011.net>
・外国語での相談可 DV、性暴力、暮らしの悩みなど
・SNS、メール等での相談案内あり

第3次常陸大宮市男女共同参画計画 啓発ブック

笑顔☆きらり

誰にでもやさしいまち常陸大宮

令和3年3月

常陸大宮市 市民生活部 市民協働課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町 3135-6

TEL:0295-52-1111（代表）

FAX:0295-53-5415

取材・編集協力：株式会社都市環境計画研究所